

暴風雪への備え



日常から暴風雪に備える

★ 家の中で安全に過ごすために

- 気象情報に注意して、暴風雪が予想されているときは外出を避けましょう。
- 停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブや灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- FF式暖房機等を使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないよう注意しましょう。



★ 止むを得ず車で外出するときは

- 天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



もしも暴風雪に遭遇してしまったら…

★ 車を運転しているとき

1. 運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けるのは大変危険なので…

- ! 道の駅、コンビニなどで天気の回復を待つ
- ! 気象情報や道路情報を確認する

2. 途中で立往生をしてしまったときは、後続車から追突されないように…

- ! ハザードランプを点滅、停止表示板を置く
- ! JAF等のロードサービス、近くの商店や人家等に救助を求める
- ! 避難できる場所や救助を求められる人家が近くに無いときは、警察・消防に連絡して救助を求める

3. 車内で救助を待つときは、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症に十分注意が必要なので…

! 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



! 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。



! エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



! 窓を開けていても絶対安全とは言えません

風向や窓の開度などの条件によっては、窓を開けていても閉めているときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。



緊急時の
連絡先

車の故障・不具合・レッカー移動などは

JAF ロードサービス救援コール
0570-00-8139 又は #8139 (短縮ダイヤル)

車の事故・人命救助の要請などは

警察
110

消防
119